

【大学・地域共創プラットフォーム香川】
令和4年度第3回就職・産業振興部会 議事要旨

開催日時：令和4年9月29日（木）10：00～11：30

開催方法：香川大学幸町北キャンパス

法人本部4階大会議室（高松市幸町1番1号）

欠席機関：高松大学、高松短期大学、香川県中小企業家同友会、香川県漁業協同組合連合会、香川県銀行協会、土庄町、小豆島町

議題事項

1. 令和4年度県内企業等への就職促進に向けた取組状況について

令和4年度県内企業等への就職促進に向けた取組状況について、議題資料1に基づき、各部会委員から説明があり、審議の結果、今後改善・強化などを含めて、部会の取組事業を継続的に検討していくこととした。

【取組状況に係る課題について】

（インターンシップ）

参加者がなかったため、活用方法について今後検討を要する。

（かがわーくフェア）

就職活動の早期化に伴い、実施時期や開催方法等は検討を要する。

また、香川県内の学生の参加が少ないため、学生の実態把握が必要となる。

（種別オンライン県内企業見学ツアー）

学生参加者の確保、参加企業の持ち時間及びコース内容について検討を要する。

【学生の動向に則した行事の開催時期について】

（四国学院大学）

・かがわーくフェアの名称について、「面接会」を「説明会」にする。

・いろんな所で実施するよりは、ある程度まとめて実施する方がよい。

（徳島文理大学）

・学生の約半数は自発的に動くが、それ以外の学生を動員するのは大変な労力を要する。様々な機会をいただけるのは大変ありがたい。

（香川短期大学）

・Zoomの習得も兼ねて、業種別オンライン県内企業見学ツアーを活用した。今後、保護者目線の取組みについても実施していきたい。

（香川大学）

・4～5月に内々定をもらっている学生が多い。かがわーくフェアの8月実施をずらして、ハローワークとの共同開催を検討すればどうか。

2. 就職・産業振興部会における今後の取組みとワーキンググループの設置について

就職・産業振興部会における今後の取組みとワーキンググループの設置について、議題資料2のとおり案が示され、審議の結果、各機関が取り組みたい事項を取りまとめたうえで、今後ワーキンググループの設置を検討することとした。

3. 令和5年度事業計画及び予算計画について

令和5年度事業計画及び予算計画について、議題資料3のとおり案が示され、審議の結果、次年度事業の実施に向けて、部会において検討を進めていくこととした。

4. その他

香川県地域活力推進課・佐々木委員より、今後の取組み等について、各機関が取り組みたい事項を取りまとめることとなっているが、経済界や大学などが連携して新たな取組みを検討する場合は幅広に考えてもらい、また、記載できない場合、困り事がある場合でも、個別に県にご相談いただければ有り難いとの発言があった。

報告事項

1. 地域活性化部会・アイデアソンの結果報告について

香川県地域活力推進課・佐々木委員より、報告資料1に基づき、地域活性化部会・アイデアソンの結果報告についての報告があった。なお、本報告事項に係る各部会委員の感想・意見は以下のとおり。

- ・若い方が集まっている場での企業PRの機会があればよい。
- ・部会の方で汲み上げて、取組みにつなげていければよい。
- ・高松まつりに合わせて、企業紹介の機会を設けてはどうか。
- ・高校生の段階で香川を知ってもらう活動をすでに行っているが、まずは企業もさることながら、地元の良さを知ってもらうことが重要と考えている。
- ・若い方が参画して意見を述べる機会を本部会でも設けられたら新しい展開があるかもしれない。
- ・地域活性化部会のアイデアソンに参加したが、アイデア出しに終わらず、事業化、実践につなげることが重要。
- ・若い方が能動的に関わるのは非常に良いこと。いろんなところで多くの方に参加していただければよい。
- ・大事なのは、次のステップで、どのように現実の社会に反映していくかが問題で、アイデアだけで終わらないよう、我々も支援をしたい。
- ・短大は、入学して半年で就職活動を支援しないといけない。ほとんどが地元にしかが目に向いていないので、香川県全域に関わる学外での体験を積みまわせていきたい。

2. 香川の産業振興について

香川県産業振興課・芳重委員より、報告資料2に基づき、香川の産業振興についての報告があった。なお、本報告事項に係る各部会委員の感想・意見は以下のとおり。

- ・中小企業の経営発展を中心に活動を行っており、香川県とは幅広く連携させてもらっている。各大学、教育機関に事業所の取組を知っていただきたい。
- ・小規模事業者の支援が中心になっており、各地域の経営指導員が伴走型で支援を行っている。事業承継が進まないのが悩みとなっている。
- ・外国人の技能実習生の受入れに取り組んでいる事業者が約3割いるが、コ

ロナ渦で4割減となっている。技術移転が目的であるが、現実的には労働力となっている。

- ・香川県のコロナ支援について、助かっているというお声は聞いている。人材育成や香川の特徴を押し出す取組などはよい試みであると思う。

- ・香川県の大半が中小企業であるので、香川県のバックアップがあるという説明になっている。

- ・産業観光について、国が課題として取り上げているので、高松市独自の観光にスポットを当て、交流人口を増やして行きたい。

- ・学生としては長く働きたいという思いや福利厚生の実を上げる学生が多いが、県内企業とのギャップを感じた。簡単ではないが、学生の意識を変える取組が必要となる。

- ・県内就職に向けて、これまで若者県内定着事業などでご支援をいただいていたが、次年度以降ご支援を復活していただきたい。

- ・デザイン関係の就職先が少ないが、興味のある分野に活かせるような方策、数年でもご支援をいただいて、他方面の勉強ができる機会があればありがたい。